

偶数月に1回「抱樸館を支える会」会員の方にお届けしています

抱樸館を支える会

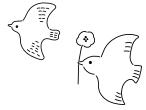
会報

2026

2

月

vol.75



2026年2月1日発行:抱樸館を支える会

厳しい寒さが身に染みる年末年始。多くの公的機関が休みに入るこの時期は、住まいや生活に困窮している方々にとって、より一層の孤独と不安が募る季節でもあります。

今年の冬も、各地で温かな食事の提供など、様々な取り組みが行われました。その活動の様子を皆さんにお伝えします。

寄り添いの
現場から

年末年始



NPO法人抱樸
焼き出しの様子
北九州

抱樸館熊本
交流会の様子



抱樸館福岡
初詣の様子

4月号特集 「孤独・孤立のとなりにいる私たち(仮)」

予告とアンケートご協力のお願い

いつも会報誌をご愛読いただきありがとうございます。

次号(4月号)では、コロナ禍を経て改めて私たちの課題となっている「孤独・孤立」を特集します。皆様の率直な思いや経験を伺い、誌面を通じて「つながり」を再考する機会にしたいと考えています。ぜひ、あなたのお声をお聞かせください。

アンケートはコチラ



・すべてに目を通します
・個人情報が出ることはありません



抱樸館だより

年末年始版 2025.12~2026.1

年末年始、抱樸館では様々なイベントや取り組みを行います。各抱樸館の様子をお届けします。

大晦日には、恒例の「年越しそば」が振る舞われました。冷え込みの厳しい日でしたが、湯気の上がるそばを前に「おいしいね」「体が温まる」と、あちこちで笑顔がこぼれました。

元旦には彩り豊かな「おせちプレー」が登場し、華やかなお正月氣分を全員で分かち合いました。その後は、カラオケや書き初め、ゲーム大会を行い、館内は賑やかな笑い声に包まれました。

伝統の味と賑わい
心温まる「お正月」を共有



抱樸館福岡では、入居者の皆様と共に
心温まる年末年始を過ごしました。

年越そばで心も体も温まり
抱樸館福岡で迎えた新年



団らんの裏側にあるもの

こうした行事の裏側では、職員も交代で年末年始の勤務にあたり、入居者の皆様が安心して過ごせるよう心を込めてサポートしました。館内が温かな場所であるようにと、職員一人ひとりが奔走した日々でもありました。

逆風に負けない
「一步」を共に

現在、社会では物価高騰など厳しい状況が続いています。将来への不安を感じやすい時世ですが、私たちはこの逆風に決して負けてはいられません。お正月を楽しく過ごしたことが、新しい一年を歩む皆様の大きな「活力」となることを切に願っています。

困難な社会状況にあっても、手を取り合い、前を向いて歩むことが、それぞれの自立に向けた確かな一步へと繋がります。本年も職員一同、皆様に寄り添い、共に歩んでまいります。

本年も、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。





「日常の温もり」届ける年末年始 この一年を振り返る

例年、年末になると通常より入所相談が増える傾向にあります。が、今回は年末年始の入所はなく落ち着いた数日となりました。

深夜の談笑に喜びの声 食べて彩る季節の節目

昨年、館内ではクリスマスにはケーキ、年末は年越しそば、正月は雑煮を提供し、鏡開きにはぜんざいを準備しました。

いつもは夜23時が消灯ですが、大晦日は1時間延長し午前0時消灯にて談話室でテレビを見たり、おしゃべりをしたりと楽しいひと時になりました。

入居者の中には「これまで正月気分など何年も味わっていない」という方が少なくありません。今回の対応で少しでもそのような気分に浸つていただけたのであれば幸いと思っています。



交流会の様子

催すことができ、コロナ影響以降久々の年2回の実施となりました。昨年に引き続き、熊本県より物価高騰による困窮者対応の補助金が支給され、交流会に係る費用を賄うことができました。

今回は19名の参加となり、ビンゴゲームやカードゲーム、冬物衣料・食糧品・弁当の配布等充実した内容となりました。これからも色々と工夫し皆さんに喜んでいただける内容にしたいと思っています。

会員のみなさま、今後ともよろしくお願いいたします。

今年度の交流会、 コロナ後初の年2回実施

毎年恒例の交流会を昨年11月に開催しました。今年度は春にも開



新年炊き出し等に230食 勝山公園で支援の輪

2026年の新年炊き出しを1月3日、北九州市小倉北区の勝山公園で開催。100人あまりのボランティアのみなさんのお支えで無事に終えることができました。

「出会いこそが希望」「なんとかなる」と信じる力

この日は午前9時半から東八幡キリスト教会をお借りしてドライカレーを調理。午後1時半から

準備し、午後2時半から追悼集会を始めました。今年は「希望のまち」開所の年。奥田理事長は、路上に倒れた方々と出会いから看取りまでの関係性をつむいできた歩みをたどり、「希望とは何か。わたしとあなた、その出会いの中でなんとかなる」と変わっていく。変わること

ぜんざいに書き初め
音楽・夕暮れに広がる
「ひとつの輪」

お配りしたお弁当はボランティアのみなさんを含め計202食、パトロールでのお弁当数をあわせると計230食となりました。ドライカレーや子どもたちによるぜんざいのふるまいも大盛況。抽選会や書き初めに続いて、ライブが行われ、夕暮れの空を背にあたたかな音楽をみんなで楽しみ、歌に合わせて最後は大きなひとつの輪になつて踊りました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年炊き出して挨拶する奥田理事長



NPO法人ホームレス支援 福岡おにぎりの会より

新しい年を前向きな気持ちで

2025年、炊き出しや夜回りに参加される当事者の人数は年々増加し、年末最後の回には158人が来られ、準備する食数も200食を超えるました。路上生活をされている方々より、生活困窮の中に置かれている方々の増加が顕著でした。一方で、暑い夏や寒い冬に路上へと出ざるを得ない方々に、炊き出しや夜回りの活動を通して出会うこともありました。年末にはお一人おひとりにプレゼントを手渡しし、新しい年を少しでも前向きな気持ちで迎えてもらいたいという願いを込めました。当事者の方々は、食事を受け取るだけではなく、人との関わりや語らい、安心できるつながりを求めて、炊き出しや夜回りに来ておられます。

2026年も、心と体を温め、命を繋いでいただく場として、そしてなにより人と人とのつながりをつくりしていく、紡いでいく場として、炊き出しや夜回りの活動を大切に続けていきたいと考えています。

NPO法人 美野島めぐみの家より



温かい食事とプレゼントを

2025年、美野島の炊き出しに並ばれたかたは、昨年に比べ405人も増えました。ただ、その中身は、野宿者が減少するなか、居宅の「困窮者」が増加したためでした。つまり、これまでギリギリだった困窮者の生活が、止まらない物価高によって、毎日の食事にも困るところまで追い込まれているのだろうと思っています。さて、ここで「困窮」という言葉を調べてみました。すると、「貧困」は主に経済的な欠乏状態を指し、「困窮」は貧困に加え、仕事がない、病気、孤独など複合的な要因で生活そのものが成り立たない、または維持が困難な状態を指すそうです。つまり「貧困」は「困窮」の一要因であり、「困窮」は「貧困」より状況が深刻なのだということでした。

微力ですが、「美野島めぐみの家」は野宿者&困窮者のかたに温かい食事で冷え切った身体を温めて頂きたいと思っています。2025年のクリスマス会はジョンソン神父のお話と「きよし この夜」の斎唱の後、恒例のすき焼き丼、ゆず大根とお吸い物、プレゼントには靴下、手袋、カイロ、お菓子、みかんを用意しました。年が明けて2026年の最初の炊き出しは、恒例の筑前煮と小豆ぜんざい、紅白なますの家庭的な正月料理にしました。



抱樸館を支える会は、各地のホームレス自立支援団体とグリーンコープの支援を通じてつながっています。

NPO法人 岡山きずなより



毎日趣向を凝らしたメニューをご用意し、連日約45名の方に提供しました。

ホッとして前を向けるように

今年の年末年始も昨年同様に9日間、活動拠点である古民家『安楽亭』にて、お困りごとの相談窓口をかねた無料食堂を行いました。

なじみのボランティアさんや年末年始だけでも必ず参加してくださるボランティアさん、新たに参加してくださったボランティアさんたちに支えられ、9日間という長い期間を走り抜けることが出来ました。

今年度から始めた『だがし屋・安楽亭』も盛況で、お母さんと食堂を利用したお子さんたちにも楽しんでいただけました。

今年も、来てくださる皆さんにホッとできたり、元気をもらったり、少しでも気持ちが軽くなつて前を向ける、そんな安楽亭でありたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

NPO法人ホームレス支援 久留米越冬活動の会より

目に見えない困窮者

今年も「越冬の会」は12月の第2火曜日に「越冬突入炊き出し」を行いました。野宿の方が厳しい冬を乗り切る決意を込めた炊き出しです。

日本のホームレスの人数は最も多い時に比べると9割ほど減っていますが、これは政府によるホームレスの定義が極めて狭い範囲に限定されているため、「部屋のあるホームレス」と呼べる人まで算入すると公表されている人数の数倍



年末年始には、抱樸館とつながりのある各地域の団体が、炊き出しなどの様々な支援活動を実施しています。各団体より報告をいただきましたので紹介します。



支援が必要な人は多く存在する

長崎ホームレスを支援する会より



相談できるつながりを

年末年始の期間中、私たち長崎ホームレスを支援する会では、生活に不安や困難を抱える方々への「年末居宅訪問」を実施しました。年末は行政窓口や支援機会が限られ、困りごとを抱えたまま孤立しやすい時期でもあります。そこで、直接お宅を訪ねて近況を伺い、生活の状況や困難を丁寧に聞き取りながら、今後の暮らしについて一緒に考える時間を持ちました。体調や生活の見通しについてお話を伺い、今後、公営住宅への申し込みを検討する場合には、手続きのサポートができることをお伝えしました。

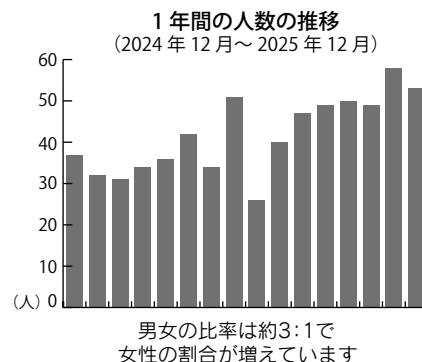
訪問は年に一度と限られていますが、その短い機会だからこそ、安心して相談できるつながりを保つことを大切にしています。こうした取り組みを積み重ねることで、地域の中に小さな支え合いの輪を広げていきたいと考えています。今後も、現場の実情に寄り添いながら、必要な人に届く支援を続けていきます。

になります。

また日本における生活保護の捕捉率が2~3割に留まっていることからも、生活に困窮している人は私たちの目に見えないだけで、実際には多くの人たちが存在しています。

最近の物価の高騰が困窮者の暮らしを直撃していることは、炊き出しに見える人数からも知ることができます。昨年12月から1年間の人数の推移は以下の表の通りです。

今のところ、毎回お米(1.5kg)を提供できています。このことが会場に来る動機付けになっていると感じています。食料を提供していただいている多くの方に感謝いたします。



NPO法人 かごしまホームレス生活者 支えあう会より



笑顔に包まれた年末年始

今回20回目の年末年始の越冬炊き出しは、これまで会場を借りていた鹿児島県教育会館が解体の運びとなり、それをニュースで知った三育幼稚園・小学校のあるSDA鹿児島キリスト教会の方々が手を差し伸べて下さり、教会の特別ルームでの開催となりました。

新会場は「支えあう会」の告知に加え、地元紙、Yahoo!newsでも地図入りで案内頂けたことで、県外からもボランティアの方々が駆け付け、調理など準備をボランティアが行い、「支えあう会」は相談等を引き受けました。

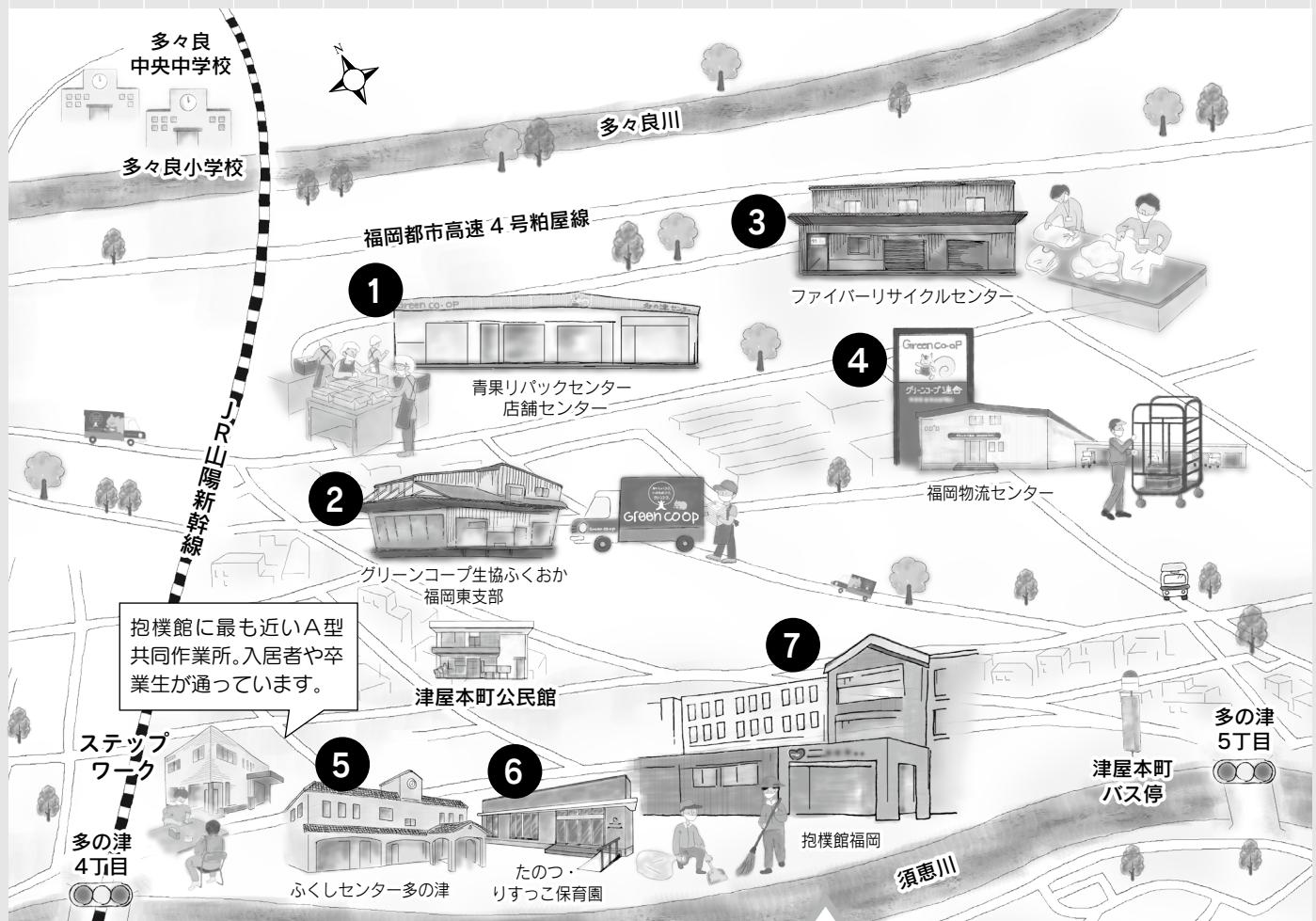
正午より開始し、大晦日は年越しそば(グリーンコープ)、ぜんざい、果物、おでん、さつま汁、おにぎり等を提供。元旦はお雑煮、ぜんざい、おでん、野菜炒め、から揚げ等を提供、お節料理を小分けして持ち帰って貰いました。

路上生活有志は礼拝にも参加し、ジャンバーなど冬物衣類、カイロの配布も喜ばれ、歌のボランティアも来て、満席の会場は和やかに正月気分を味わう笑顔に包まれました。

福岡市東区
多の津
周辺

つながる、支える 抱樸館福岡 マップ

抱樸館福岡の周辺には、入居者がお世話になっている病院や、A型共同作業所、就労訓練に通うグリーンコープの施設などがあります。多くの場所と連携しつつ、日々の取り組みを進めています。



7

社会福祉法人 グリーンコープ 抱樸館福岡

生活困窮者のための自立支援施設。生活困窮者の「ハウス(家)」であり、「ホーム(心のよりどころ)」になることを願って、再び地域で自立した生活ができるように支援しています。

春には地域から寄贈していただいた16本の桜が見ごろになります。

ボランティアで地域の
清掃をしています。

抱樸館福岡では、支援プログラムの一つとして、地域の清掃ボランティア活動などを行っています。

抱樸館HPは
こちら



抱樸館福岡は
JR柚須駅より徒歩
約20分です。

JR 篠栗線
JR 柚須駅

1



グリーンコープ連合会
・青果リパックセンター
・店舗センター

就労訓練を経てアルバイト
雇用された方が多数います。

2



グリーンコープ生協ふくおか
福岡東支部

入居者や卒業生も働いて
います。

3



社会福祉法人 グリーンコープ
ファイバーリサイクル
センター

自立支援の一環として就労訓
練を行っている重要な連携先。
多くの入居者が就労訓練を経て
地域で自立しています。

4



グリーンコープ連合会
福岡物流センター

生産者やメーカーから抱樸館
福岡への支援物資もここへ届
きます。

5



社会福祉法人 グリーンコープ
ふくしセンター多の津

生活訓練・就労継続B型作業
所、訪問介護事業所と連携して
います。

6



社会福祉法人 グリーンコープ
企業主導型保育所
たのつ・りすっこ保育園

抱樸館福岡の隣にあります。
子どもたちと一緒に、抱樸館
福岡の畑で芋ほりを行ってい
ます。

福岡市東区
名島

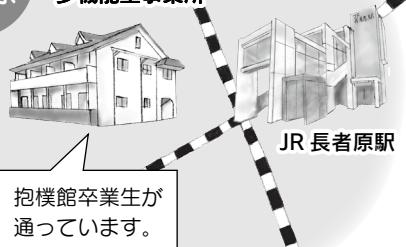
幼保連携型認定こども園
名島りすの森こども園

子どもたちの主体性や生きる力を育む
保育、教育を行なっています。
卒業生が食材配達を行っています。



糟屋郡
長者原

ステップアップ
多機能型事業所



JR 長者原駅

抱樸館卒業生が
通っています。

福岡市東区
松島

社会福祉法人 グリーンコープ
松島りすの森保育園

家庭のような、あたたかい「大きな家」
の中で、笑顔で安心して過ごせる保育
園です。
卒業生が食材配達を行っています。



ファイバーリサイクルセン
ターで仕分けされた衣類や
小物を販売しています。
キープ＆ショップはこざき
も併設。



福岡市東区
箱崎

居場所カフェ 在(aru)

ほっとやすらげる
みんなの居場所。

JR
箱崎駅



コーヒー豆の選別など作業工
程の中に就労訓練を組み込ん
で、生きづらさを抱えた方たち
の伴走支援をしています。

会報誌の感想をお聞かせください
アンケートのご協力を
お願いします

2月号
アンケートフォーム



会報誌2月号はいかがでしたでしょうか?

すべての項目にお答えいただ
く必要はございませんので、お気軽
にご協力ください。

アンケートは今後の誌面づくりの参考に
させていただくために、実施しています。
お寄せいただいたご意見やご感想の一
部を、誌面で紹介させていただく場合が
ございます。あらかじめご了承ください。

2025.12月号の
アンケートより



伏哲也さんの「真の思いやりとは相手の尊厳や自立
を尊重し同じ目線で関わる事」の部分に深く同意しま
す。自分勝手な思いやり、一方通行の思いやりになつ
ないか、子育てにも通じる部分だなあと思いました。
思いやりという「人によって基準の違う目に見えない
物」よりも、人権教育の「差別の仕組みを理解し、行動する
力を育てる」ことの方がとても実効性があるなど感
じました。文章がわかりやすくまとまっていて、とても
勉強になりました。

(ふくおか40代)

入会して終わりではなく、繋
ぎ止めてくれるのがこの会報
の存在です。どこを読んでも
胸が熱くなり、自分も何か少
しでも動こうと思えます。本
当にありがとうございます。

(おおさか40代)

「いこうや」活動の
方々の楽しさが伝
わり羨ましく思
いました。

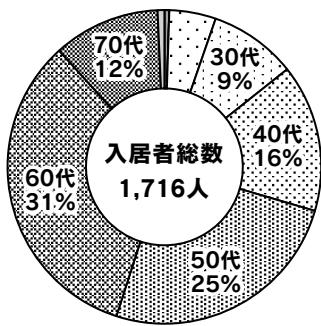
(ふくおか70代)

いつも、楽しみに読ま
せていただいていま
す。そして、抱撲館の
スタッフの方々に、感
謝の気持ちでいっぱ
いです。

(かごしま70代)

抱撲館福岡の入居・退居などの状況

開所から2025年12月末までの入居者数



2025年12月末現在の入居者

72名(定員81名) 男性67名、女性5名

2025年11~12月の新入居者数・退居者数

新入居者数12名 退居者数12名

(注:12月末までの入居者数1,716名は、2度、3度入居した人も1名と
数えています)

抱撲館熊本・抱撲館北九州の入退居の状況は、特集の際に
ご案内します。

抱撲館を支える会の概要

抱撲館を
支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。
◇ホームレス者支援事業
◇抱撲館に関する広報活動及び資金援助活動
◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日 抱撲館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて
同年4月10日に設立

正会員 以下の18団体が正会員です。
グリーンコープの各単協(15生協)
グリーンコープ連合会
NPO法人 抱撲(旧:北九州ホームレス支援機構)
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員 2025年12月末の賛助会員は、以下の通り
グリーンコープの共同購入組合員 11,659名
グリーンコープの店舗組合員・一般の方 145名
企業賛助会員 96社

その他(抱撲館の所在地)

抱撲館福岡(福岡市東区) 2010年5月開所
抱撲館北九州(北九州市八幡東区) 2013年9月開所
抱撲館下関:新たに開設を検討中
抱撲館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

抱撲館を支える会 賛助会員・企業賛助会員 募集中!

グリーンコープの
共同購入組合員の方

1300 「抱撲館を支える会」年会費
1口 月250円×12回
(年間3,000円)

毎月の商品代金と一緒に250円引き落
としとなります。

1299 「抱撲館を支える会」年会費
1口 1,000円
一括払い

お申し込みいただいた月の商品代金と一緒に、毎年一括で引き落としとなります。

※賛助会員(会費)は毎年自動更新となります。
二重のお申込みにご注意ください。

一般の方、グリーンコープの
店舗組合員の方

1口1,000円の賛助会費を
何口でも申込み出来ます。
郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱撲館を支える会

企業賛助会員

企業賛助会員は、会費が1口10,000
円です。出来れば3口(30,000円)以
上をお願いします。お申込みは、「抱撲館
を支える会」事務局まで。

「抱撲館を支える会」事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目
5番1号 社会福祉法人グリーンコープ内

☎ 092-482-1964

抱撲館の連絡先

抱撲館福岡

(電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)
〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱撲館北九州

(電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)
〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱撲館熊本

(電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)
〒860-0811 熊本市中央区本荘